
苦しい胸の上に...

saika

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

苦しい胸の上に…

【Nコード】

N8920J

【作者名】

saika

【あらすじ】

自分の部屋で寝ていた私は、ふと胸に苦しさを感じた。

身動きできぬ自分の体、目を開けた時、映ったのは…！？

私はいつものように、寝ていた。

眠ってしばらく経った時だろうか。

ふと、胸に重苦しさを感じたのは…。

動こうと思っても、体は動かない。

何かに上から押し付けられたようだった。

しかもひんやりと、冷たい風を感じる。

寝る時にはちゃんと窓も閉めたし、ドアも閉めたのに…。

そして視線を感じる。

真っ直ぐに、私を見ている視線を。

私の意識はそこで浮上してきた。

そして目を開けて、映ったのは…！？

―ウチのデブ猫だった。

5キロはあるウチのデブ猫が、私の胸の上に乗って、私をじいゝと見てたんですよ。

思わず「ぎゃっ！」と叫ぶと、猫は部屋から出て行きました。

そして気付きました。

部屋の扉が開いていることに…。

私の部屋の扉の取っ手は、下に押して、奥に引くと開くタイプ。

どうやらウチの猫は、私が扉を開け閉めするのを見て、覚えたらしく…。

夜中の二時過ぎに、部屋に訪問する猫とはこれいかに…。

ある意味、幽霊よりも怖かったです。

そして重かった…。

5キロの物体が胸の上に乗ってちゃ、身動きできないですからね。マジで。

さてと…。

苦情がくる前に、逃げろー！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8920j/>

苦しい胸の上に...

2011年10月6日09時51分発行